

被害状況－麻薬探知犬管理センター－

地盤の液状化がひどく、庁舎は使用不能になり、職員は監視部庁舎に移転し、麻薬探知犬は、大阪税関関西空港支署に一時移送された。



麻薬探知犬管理センター入口付近、地割れが生じ、庁舎が傾斜している。



訓練用グラウンドが陥没し、液状化現象も見られる。



麻薬探知犬の犬舎が傾斜している。

被害状況－東灘出張所－

本館、分館ともに庁舎が傾斜し、余震で倒壊のおそれがあるため避難勧告が出され、六甲アイランド出張所 2 階に移転し業務を再開した。



本館、分館ともに庁舎が傾斜し、庁舎周辺も液状化現象がみられる。



庁舎南側路上は液状化現象がひどく、敷地の境目が陥没し、フェンスが南側に傾斜している。



本館庁舎入口周辺が陥没、地盤沈下により亀裂が生じ、階段が傾斜している。



本館と分館の間の階段がくい柱の破損により建物が傾斜し、階段に隙間が生じている。

被害状況－神戸外郵出張所－

損壊が激しく余震による倒壊のおそれがあることから庁舎内立入禁止措置がとられ、神戸税関本関業務部会議室に移転し業務を再開した。



神戸外郵出張所が入居している神戸港郵便局1階東南側の柱が損壊し、倒壊寸前な状態となっている。



1階南側が圧縮し、庁舎が傾斜している。



1階から2階への階段の壁面が落下している。



3階の神戸外郵出張所事務所内もキャビネットが倒れる等荒れた状態になっている。